



認証番号：新工法 NSK21a1
認証日：令和6年3月14日

認 証 書

ツカ・カナモノ株式会社
代表取締役会長 針谷 義昭 殿

木造建築新工法性能認証規程第4条第1項の規定に基づき、下記の工法は第8条第1項の認証の要件に適合するものとして認証する。

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
理事長 古久保 英嗣

記

- 1 工法の名称
SFP床パネルシステム
- 2 認証区分
認証の分野：構造性能認証
認証の区分：性能証明
認証の種別：工法
- 3 認証事項
構造用単板積層材の長期許容応力度は、平成13年国土交通省告示第1024号に規定する値とする。
構造用合板の長期許容応力度は、木質構造設計規準・同解説（日本建築学会2006年）設計資料IV日本農林規格構造用合板の基準特性表4.8に示される基準許容応力度を用いる。
構造用合板と構造用単板積層材のCN50くぎ接合部の長期許容一面せん断耐力は、2018年枠組壁工法建築物構造計算指針（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）第3章構造計算手法3.3接合部及び耐力壁の設計3.3.1接合部の許容耐力、降伏耐力、剛性、終局耐力で計算したくぎ接合部の長期許容一面せん断耐力を用いる。
積載荷量1800N/m²時の床システム構成部材の応力度及び接合部耐力を、木質構造接合部設計マニュアル（日本建築学会）4.接合部を利用した部材の設計4.1せん断接合部を利用した組立梁4.1.2.1等分布荷重を受ける組立梁の設計式を用い計算し、構造用単板積層材の長期許容応力度、構造用合板の基準許容応力度及びくぎ接合部の長期許容一面せん断耐力以下となり、平成13年国土交通省告示第1540号第4第10号を満足するものとして認証する。
- 4 別添
木造建築新工法性能認証評価書